

KCJS28 日本語 E クラス 2017 年 春学期

< 講師 >

担任：<sup>にしまた み ゆ き</sup>西俣美由紀 mf2249@columbia.edu

副担任：中田かおり kn2345@columbia.edu

講師室：<sup>ふそうかん</sup>扶桑館 2 階 F203 / 電話：(075)251-4996 / オフィスアワー：必要に応じて

< 授業時間 > 9:30-10:30 (1 時間目) と 10:40-11:30 (2 時間目)

< 教室 > 扶桑館 2 階 F205a

< このコースの目標 >

1. 日本語の力を伸ばす

- 文章または口頭で伝えられたことを正しく理解できるようになる。
- テキスト（読み物、写真、動画など）が、誰を対象にどんな目的で作られているのか、また作者の意図などについて、分析したり批判したりできるようになる（＝クリティカル・リーディング）。
- 文章でも口頭でも自分の言いたい事を分かりやすく説得力を持って豊かに表現できるようになる。
- 相手や場面に合った話し方をすることができるようになる。

2. 日本語を使って、自分のまわりの社会や世界とかかわり、理解を深める。

- 地域参加型プロジェクト（community involvement project, “CIP”）を通して、地元・京都の人々と交流し、コミュニティーの一員になる。
- まわりの人と話し合ったり、お互いに評価しあったりして、仲間と共に学べるようになる。

3. 自分で日本語の勉強をデザインする

- 日本語で何ができるようになりたいか、そのために何をするか考える。
- 自分の学習を振り返り、どういうふうに日本語を勉強すればいいのかを考えて実行する。
- 自分の癖を明らかにし、それを直すことで、よりスムーズに表現できるようになる。

< コースの内容と教材 > \*いくつかの教材はDropbox <https://www.dropbox.com/> を使って配布。

読む：様々なジャンルの文章を正確に読む力をつけ、語彙を増やす。

書く：説得力のある論理的で表現力豊かな文章を書く。

聴く：映画などを見たり聴いたりして、自然なスピードで話される内容を理解・説明し、感想を述べる。

話す：ビジネス場面での会話を学び、相手や場面にあった話し方を身につける。

文法：\*『どんな時どう使う日本語表現文法500』を使って、能力試験 1 級の文法を中心に学ぶ。

漢字：\*『Kanji in Context』から小テストをすることで、漢語彙を増やす。

多読：辞書を引かずに、できるだけたくさんのテキストを楽しく読む。

CIP：自分の専門・興味分野に関係する活動をして地域の人と交流し、教室では学べないことを学ぶ。

研究プロジェクト：テーマについて研究し、その結果をレポートに書いてわかりやすく発表する。

\*この 2 冊を持っていない人は、購入すること。

<注意>

日本語だけルール：扶桑館では日本語だけで話す。扶桑館以外でもできる限り日本語を使う。

毎週1回どれぐらい日本語だけルールを守ったか自己評価をする。

予習：前日に必要な準備をして、授業に参加できるようにする。予習シートにはメモ程度でいいので、必ず答えを書くこと。書いていない場合は、予習をしていないものとみなす。

宿題：自分だけとする。他の人を見たり、他の人に直してもらったりしてはいけない。提出日を守る（授業の最初）。遅れた場合チェックはするが、成績には入らない。

欠席：休む時は必ず連絡をする。やむをえない事情で7回以上欠席する場合は、日本語プログラムコーディネーター（西俣）と担任に事情を説明した文書を提出しなければならない。

遅刻：1分でも遅刻は遅刻で、毎日の出席・参加点から減点。20分以上の遅刻は欠席とみなす。

出席・参加点：最終成績は最低点6つ（6時間分）を落として計算する。

試験／小テスト：試験はやむをえない理由をのぞき、受けられなかった分を後で受けることはできない。

小テストはどんな理由であっても、決められた時間以外に受けることはできない。

私的な旅行に伴う欠席：私的な旅行は「やむをえない事情／理由」ではないので、7回以上欠席した場合の免除の対象にはならない。また、私的な旅行で受けられない試験／小テストは、事前／事後に受けることはできない。

飲食：教室での飲食は原則禁止。

ポートフォリオ：自分の学習の内省のために、授業で使ったものはすべてポートフォリオに整理する。

<クラスでの心得>

☆ Terms of Participation, Honor Code <http://www.college.columbia.edu/ccschonorcode> を守って、真摯に学ぶ。

☆ 様々な日本語を話したり聞いたりする機会を授業外でもできるだけ持つ。

☆ 使い慣れた言い方ですませず、新しく習った文法、漢字、表現などを積極的に使ってみる。

☆ 自分に厳しく、他人に優しく。

☆ 既成概念にとらわれるな。批判的に世の中を見る。

<評価> 成績と週間コメントを Engrade <https://www.engagepro.com/user/login.php?> で確認すること！

授業 (33%)	出席・参加（準備、積極性）	15%	100 - 94.0 A	93.9 - 90.0 A-
	宿題	15%	89.9 - 87.0 B+	86.9 - 83.0 B
	ポートフォリオ	3%	82.9 - 80.0 B-	79.9 - 77.0 C+
小テスト 試験 (47%)	小テスト（漢字、単語）	15%	76.9 - 73.0 C	72.9 - 70.0 C-
	試験（3回）	22%	69.9 - 67.0 D+	66.9 - 63.0 D
	期末試験	10%	62.9 - 60.0 D-	59.9 - F
プロジェクト (20%)	地域参加型プロジェクト（CIP）	10%		
	研究プロジェクト	10%		

出席・参加の評価基準（0.5点きざみで、1時間ごとにつけます）

	新出語彙・漢字の予習	予習段階での疑問点の明確度	課題の内容の理解度	授業への参加度	発言の正確・流暢さ	以前受けたフィードバックへの注意度
10.0点	◎	◎	◎	◎	◎	◎
8.0点	○	△	○	◎	○	△
6.0点	△	△	△	△	△	△
5.0点	×	×	×	×	×	×
0点	欠席					

